

厚木市シェアサイクル実証実験に関する協定

シェアサイクル

国の第2次自転車活用推進計画において、「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」は重要な目標の1つとなっております。この目標の施策として、シェアサイクルの普及が挙げられています。

これを踏まえ、本市では、令和5年策定の「厚木市自転車活用推進計画」において、自転車を個人で所有しないことによる資源の効率的な活用や、二酸化炭素の排出量削減へつなげるため、環境負荷の少ない自転車を共有して利用するシェアサイクル等の取組を進めることとしています。

HELLO CYCLING

- OpenStreet（株）が提供しているモビリティシェアシステム
- 会員登録者数は、**国内No.1**
- 26都道府県 **360市区町村**以上で展開
- 江ノ島電鉄（株）と協定を結び、湘南地区・県内西部地区を中心に展開されている。

ステーションのイメージ



図1 神奈川県展開状況

図2 厚木市周辺の展開状況

厚木市シェアサイクル実証実験に関する協定

メリット

- 地域の利便性の向上
地域にシェアサイクルが設置されることで、地域住民の皆様が気軽に短距離移動を行えるようになります。
- 環境負荷の軽減
自転車は環境にやさしい交通手段になります。シェアサイクルの利用により、地域の自動車使用を減らし、持続可能な街づくりに貢献します。
- 健康促進
自転車利用は有酸素運動として健康維持に効果があります。
- 災害時の移動手段・緊急時の利用
予定外の出来事や交通機関の停止が発生した際でも、迅速かつ柔軟に移動できます。
- 公共交通の補完
電車やバスではカバーしきれないラストマイルの移動を助けることができ、目的地までのアクセスをよりスムーズにします。

事業者による対応

- システムによる満空情報の管理
ステーション以外の駐輪にも対応しています。
- 24時間受付可能なお客様サポート体制
コールセンター等や現地対応体制があります。
- 工事不要の駐車ラック
工事等が不要のため、イベント等で一時的な撤去対応ができます。

事業スケジュール

- 令和7年10月6日（協定締結式）
公共施設に設置（次ページ参照）
- 令和7年10月～
公共施設エリア順次拡大予定
- 令和10年9月30日まで
実証実験から本格運行へ

厚木市シェアサイクル実証実験に関する協定

10/6 openの公有地シェアサイクルステーション 全19箇所 95 ラック

①睦合南公民館
②厚木北公民館
③厚木南公民館
④南毛利公民館
⑤愛甲公民館
⑥相川公民館

①厚木市役所
②あさひ公園
③萩野運動公園
④文化会館
⑤厚木公園
⑥⑦防災の丘公園
(西側駐車場)
(東側駐車場)
⑧厚木中央公園
⑨さつき公園

①本厚木駅南口
②ソニー厚木
③愛甲石田駅前
④寿町歩道橋下

現在、公開空地になっているスペースに
シェアサイクルステーションを設置をしていきた
いと考えております。

▼公開空地に準じる空地でのシェアサイクルポート設置
(広島県広島市 EN HOTEL Hiroshima)

引用：シェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドライン